

Life with Green Technology

環境技術でひらく、豊かな暮らし

平成25年6月1日 ▶ 平成25年11月30日

第69期

中間報告書

株主の皆様へ

 三協立山株式会社

証券コード 5932

## 株主の皆様へ



代表取締役会長 藤木 正和



代表取締役社長 山下 清胤

### 当中間期の経営環境と営業概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期（当第2四半期連結累計期間）におけるわが国の経済は、政府の金融・財政面での政策効果や建設需要などを背景に、ゆるやかな成長を持続しました。

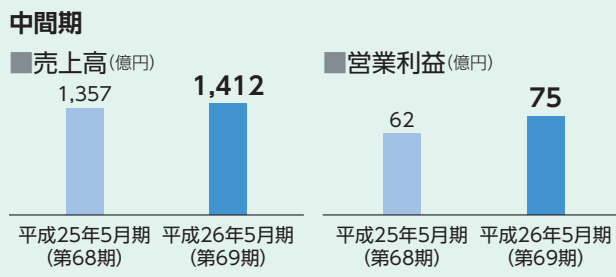
建設市場においては、緊急経済対策関連事業の本格的な執行による公共投資の増加や、災害復興住宅の建設に加えて、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による新設住宅着工戸数の増加などにより堅調な推移となりました。アルミニウム材材及びビレットの国内市場は、輸送・一般機械分野を中心に、持ち直しの動きがみられました。商業施設市場は、コンビニエンスストアなどの積極的な新規出店や店舗改装需要などにより堅調な推移となりました。

この状況の中、当社グループは『さらなる成長と新たな価値創造』を基本方針とする中期経営計画の達成に向け、「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」への取り組みを進めるとともに、コストダウンなどの効率化

に注力してまいりました。

以上の結果、当中間期（当第2四半期連結累計期間）における連結業績は、売上高1,412億82百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益75億84百万円（前年同期比21.1%増）、経常利益71億24百万円（前年同期比20.7%増）、四半期純利益62億63百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

配当につきましては、業績状況や内部留保の充実などを勘案した上で、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。当中間期は1株につき10円の普通配当とさせていただきます。



### 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、建設市場は消費増税に伴う反動減や、為替影響による輸入資材の価格上昇などが懸念されるものの、引き続き復興需要が見込まれることや、政府による金融・財政面での政策効果に加えて、東京オリンピック関連需要の高まりが予想されるなど、市場全体としては概ね堅調に推移するものと思われま

す。このような背景の中、当社では「VISION2020」の実現に向けて策定した中期経営計画の推進に取り組んでまいります。

「改装・リフォーム事業の強化」では、三協アルミとして引き続き、環境コンセプトの採風関連商材やリフォーム商材の

## 経営理念

お得意先・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

## 行動指針

私たちは

お客様  
満足

① 常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。

価値  
創造

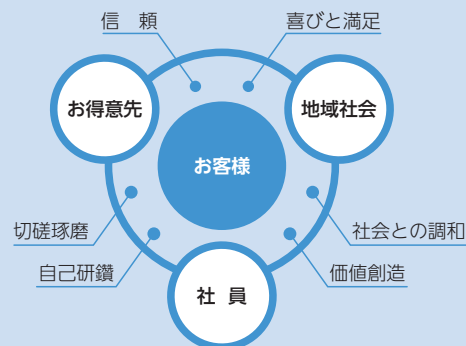
② 技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。

社会との  
調和

③ 環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。

自己  
研鑽

④ 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。



## CSポリシー

- お客様満足を第一とし、“常にお客様の立場・視点で考え行動”しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、“期待や問題点をしっかりと把握”しよう。
- お客様の満足実現に向け、“創意・工夫で改善、提案”しよう。
- お客様の“満足こそが仕事の成果”であると心がけよう。
- お客様の満足を、“共にわかち合えることに感謝”しよう。

市場投入に注力いたします。販売面では、集合住宅や教育、医療関連施設における環境、省エネ需要の取り込み強化と併せて、住宅向けのリフォーム販売ネットワーク「一新助家」の販売体制拡充を推進いたします。また、パナソニック・エコソリューションズ社と共同開発した内貼断熱リフォーム「プラメイクウォール」や『ナノイー』搭載の「玄関ドア内部額縁」、「キャブコン」の販売展開に加えて、自然換気システム「ARM-S@NAV」や採風玄関ドア「ラフォース採風タイプ」など、自然風を利用した環境建材の市場浸透に注力いたします。庭周りのリフォーム用商材として、後付け可能なガーデンルーム/テラス「ハッピーナ・スマーレ」の販売強化にも取り組んでまいります。

「非建材事業の強化」では、今後も需要が見込まれるアルミ製太陽光発電パネル用架台の拡販に取り組むとともに、三協マテリアルの持つ一貫生産体制の強みと、昨年子会社化した石川精機が保有する高精度な加工技術との融合を進めることで、自動車分野を含めた新たな事業領域の拡大に注力いたします。タテヤマアドバンスでは、引き続きコンビニエンスストアなど、好調な国内小売業の新規出店や店舗改装需要の取り込みを積極的に進めてまいります。

「海外展開」においては、ASEAN地域でのさらなる事業拡大を目指し、建材・非建材を含めたグループ全体として、現地拠点の整備、生産・販売体制の拡充を進めることで、将来に向けた基盤づくりに注力いたします。

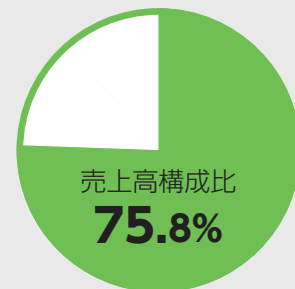
以上を踏まえて、第69期通期連結業績につきましては、売上高2,860億円、営業利益120億円、経常利益110億円、当期純利益95億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

※「ナノイー」はパナソニック株式会社の登録商標です。

# 建材事業 **三協アルミ**

多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と「省エネ・バリアフリー・高耐久」を考慮した住宅建材、そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。

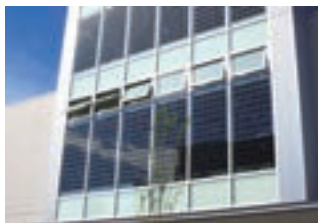


建材事業は、災害復興住宅の建設や消費増税前の駆け込み需要による新設住宅着工戸数の増加などにより、堅調な推移となりました。また、成長分野の「改装・リフォーム事業の強化」に向け、採風関連およびリフォーム商品の拡充・拡販に向けた取り組みに注力してまいりました。

### ビル建材・STER

ビル建材事業では、近年多発している想定外の豪雨や台風などに対応するため、ビル用サッシの主力シリーズ「MTG-70」に、業界初となる高い水密性能と断熱性能を兼ね備えた「高性能サッシ」を発売いたしました。また、自然風を利用して通風・換気が可能な自然換気システム「ARM-S@NAV」や「スウィンドウ」など環境建材の拡販に注力してまいりました。

STER事業では、集合住宅や教育、医療関連施設など、幅広い分野における環境・省エネリフォームの提案に注力してまいりました。



スウィンドウ



ARM-S@NAV



カーテンウォール

## 住宅建材

住宅建材事業では、ドアを閉めたままでも通風・換気が可能で、省エネにも貢献できる玄関ドア「ラフォース採風タイプ」のさらなる拡販に向け、玄関ドアキャンペーンなどの取り組みに注力いたしました。また、リフォーム販売ネットワーク「一新助家」の販売体制強化に加え、リフォーム用玄関ドアへの採風タイプのデザイン追加や人気の床材「Sフロア」へのリフォーム対応アイテム追加など、リフォーム分野の強化に注力いたしました。



床材「Sフロア」



「ナノイー」搭載内部額縁  
(玄関ドア用)

※「ナノイー」はパナソニック株式会社の登録商標です。



玄関ドア「ラフォース採風タイプ」  
奇木風デザイン

## エクステリア建材

エクステリア建材事業では、庭周りのリフォームにも対応可能なガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」の拡販に取り組むとともに、業界初の2台用片側支持カーポート「ダブルフェース」など差別化商品の拡販にも注力いたしました。また、5組の建築家と共に新しい住空間を考えるプロジェクト「SACLAB」の第一弾の取り組みとして、「新しい境界」とエクステリアデザイン」をテーマに掲げ、これまでの固定概念にとらわれない新しい発想の「フェンス」の開発に注力いたしました。



カーポート「ダブルフェース」



ガーデンルーム「ハッピーナ」



ガーデンテラス「スマーレ」

また、パナソニック・エコソリューションズ社と共同開発商品の内貼断熱リフォーム「プラメイクウォール」をはじめ、住宅用「ナノイー」搭載内部額縁(玄関ドア用)やビル用省エネ建材「ナノイー」搭載キャブコンなどの拡販にも注力してまいりました。

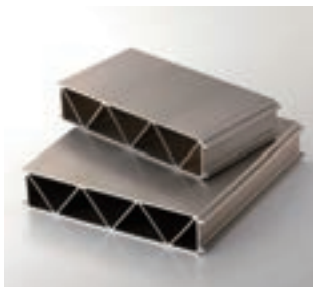
以上の結果、売上高1,070億18百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益(営業利益)は、53億6百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

# マテリアル事業

## 三協マテリアル

無限の可能性を秘めたアルミニウムやマグネシウムなど、次世代のマテリアルを提供しています。

売上高構成比  
**13.0%**



マグネシウム ダブルスキン形材

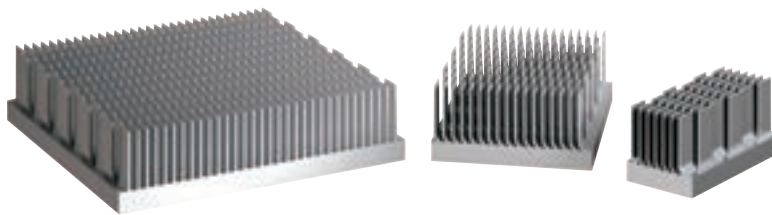


TG-bar

マテリアル事業では、近年需要が高まる太陽光発電分野へのさらなる拡販に向け、アルミ製太陽光発電パネル用架台「サンステージ」の販売強化に取り組んでまいりました。

また、設計・企画段階からの物件提案による、豪華寝台列車「ななつ星 in 九州」内装材への当社技術力の採用をはじめ、自動車部品関連の高精度な加工技術を有する石川精機の子会社化など、新たな事業領域となる輸送・自動車分野への参入に向けた取り組みにも注力してまいりました。

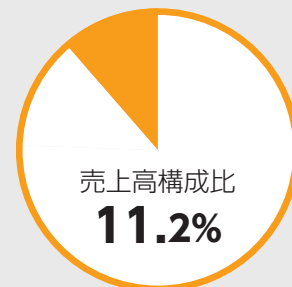
以上の結果、売上高 184億 37百万円（前年同期比 8.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、15億 29百万円（前年同期比 13.7%増）となりました。



ヒートシンク オフセットSSタイプ

# 商業施設事業 タテヤマアドバンス

ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工およびメンテナンスを提供しています。



商業施設事業では、コンビニエンスストアなど、好調な国内小売業の新規出店や店舗改装需要の積極的な取り込みに注力してまいりました。

また、中国（上海）を製造・販売拠点として、中国市場に進出している日系小売業や現地資本の小売業および豪州小売業などへの販売拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、売上高157億62百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益（営業利益）は7億51百万円（前年同期比54.4%増）となりました。

非電照・T型  
スタンドサイン  
[ADO-Vシリーズ]



店舗用LEDファサードサイン[AD PACK]



店舗用汎用陳列什器[タテヤマゴンドラ]



## 「ななつ星in九州」の内装材に三協マテリアルの技術力を採用

三協マテリアルのアルミ押出・加工・組立技術が、クルーズトレイン「ななつ星in九州」の車両内装材に採用されました。平成25年10月15日より運行を開始した同列車は、車両内外に施された木の風合いが特長の豪華寝台列車です。車内の内装材においても、アルミ材を使用しつつ、木の風合いにこだわった仕上がりが求められました。

当社は設計段階から参画する機会を得たことで、木組みに求められる高い精度をアルミで実現するための技術構築提案を行い、美しい切断面や隙間のない突合せ接合部など、ディテールにこだわった仕上がりを実現いたしました。



## 5組の建築家と共に新しい住空間を考えるプロジェクト「SACLAB」

平成25年10月21日～23日、AXIXギャラリー（東京都港区六本木：アクシスビル）にて、「SACLAB」の展示会を開催、初日にはプレス発表会、記念フォーラムも同時開催いたしました。「SACLAB」とは、平成25年4月から三協アルミがスタートした、国内外で活躍する5組の建築家と共に新しい住空間を考えるプロジェクトです。今回、第一弾の取り組み「“新しい境界”とエクステリアデザインについて」の成果として、平成26年4月から順次発売予定の6アイテムの模型、デザインイメージを発表しました。



## 当社商品開発に女性力活用 ～NHK全国ニュースなどで紹介～

平成25年11月27日放送のNHK全国ニュース「おはよう日本」の番組内で、当社の女性力を活かした商品開発事例が取り上げられました。



これは、女性の視点を活かしたビジネスの動きを経済リポートとして紹介するもので、当社の女性企画・開発メンバーが取材を受け、玄関ドア「ラフォース・ナチュラル」などが紹介されました。

当社の女性開発の取り組みについては、平成25年9月発行の日本政策投資銀行のリポートでも取り上げられています。



## 石川精機(株)を子会社化

当社は平成25年12月2日付で、石川精機(株)と株式譲渡契約を締結いたしました。

自動車部品を中心とする高度な精密加工と独自の製造ライン構築における優れたノウハウを有する同社の加工部門を取り込むことで、今後も堅調なアルミ需要が見込まれる自動車分野において、素材と加工技術一体での事業展開を進め、シナジーの創出により、非建材事業の長期的・継続的な発展を目指します。



## 「ツインリーの森づくり」 記念式典・植樹活動開催

平成25年11月2日、とやま・ふくおか家族旅行村(富山県高岡市)にて、「ツインリーの森づくり」活動の記念式典ならびに植樹を開催いたしました。

本活動は、5年間で約2,500本を植樹し、根踏み、下草刈を繰り返し、15年かけて苗木を育成するもので、当日は、ボランティア社員とその家族ら約100名で苗木500本を植樹いたしました。



## サイン&ディスプレイショウに出展

平成25年9月19日～21日、東京ビッグサイト(東京都江東区)にて「第55回サイン&ディスプレイショウ2013」(主催:東京屋外広告美術協同組合)が開催されました。

タテヤマアドバンスのブースには、メンテナンス性や省エネに配慮した突出しサイン「AD-200シリーズ」、薄型・軽量化を実現した非電照式スタンドサイン「ADO-Vシリーズ」などを出展し、多くの来場者で賑わいました。



## フィリピンに義援金を寄贈

平成25年11月8日にフィリピン中部を襲った台風30号による被災者救済および被災地復興のため、当社グループおよび関連会社の従業員からの募金と拠出金をあわせた義援金を日本赤十字社ならびにフィリピン現地法人「三協立山フィリピン(SANKYOTATEYAMA PHILIPPINES INC.)」を通じてフィリピン赤十字社、PEZA(フィリピン経済特区庁)および被害の大きかったレイテ島のタクロバン市などに寄贈いたしました。

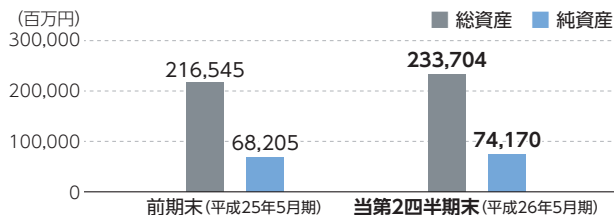


## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成25年11月30日現在	前期末 平成25年5月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	123,681	107,284
現金及び預金	27,822	24,772
受取手形及び売掛金	62,303	51,521
商品及び製品	11,129	11,130
仕掛品	16,944	14,295
原材料及び貯蔵品	3,630	3,514
その他	5,802	5,484
貸倒引当金	△3,952	△3,434
<b>固定資産</b>	110,023	109,261
有形固定資産	92,034	92,489
無形固定資産	1,100	835
投資その他の資産	16,888	15,935
<b>資産合計</b>	233,704	216,545
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	117,248	105,397
支払手形及び買掛金	52,637	46,580
短期借入金	22,637	22,062
その他	41,974	36,754
<b>固定負債</b>	42,284	42,942
長期借入金	24,209	24,384
その他	18,075	18,557
<b>負債合計</b>	159,533	148,340
<b>純資産の部</b>		
株主資本	69,013	63,699
その他の包括利益累計額	4,271	3,724
少数株主持分	885	781
<b>純資産合計</b>	74,170	68,205
<b>負債純資産合計</b>	233,704	216,545



### 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成25年6月1日～ 平成25年11月30日	前第2四半期(累計) 平成24年6月1日～ 平成24年11月30日
売上高	141,282	135,762
売上原価	104,401	99,626
売上総利益	36,881	36,135
販売費及び一般管理費	29,297	29,871
営業利益	7,584	6,263
営業外収益	824	1,055
営業外費用	1,283	1,414
経常利益	7,124	5,904
特別利益	57	402
特別損失	270	299
税金等調整前四半期純利益	6,912	6,007
法人税等	538	847
少数株主損益調整前四半期純利益	6,373	5,160
少数株主利益	109	38
<b>四半期純利益</b>	6,263	5,121

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成25年6月1日～ 平成25年11月30日	前第2四半期(累計) 平成24年6月1日～ 平成24年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,143	9,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,244	△1,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771	△2,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△16
現金及び現金同等物の増加額	3,123	4,988
現金及び現金同等物の期首残高	23,990	22,677
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	339
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,114	28,005

「四半期連結損益計算書」及び「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」に記載の前第2四半期(累計)の数値については三協・立山ホールディングス株式会社の数値としております。

# 会社概要 / 株式情報 (平成25年11月30日現在)

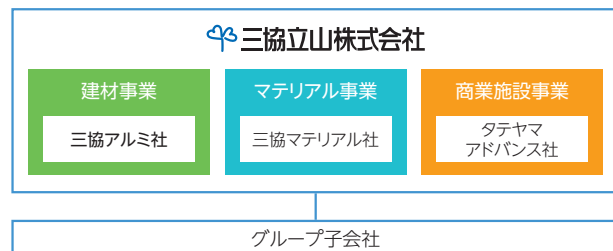
## 会社概要

会社名 三協立山株式会社  
 所在地 〒933-8610 富山県高岡市早川70番地  
 設立 昭和35年6月20日  
 資本金 150億円  
 従業員数 5,774名  
 U R L <http://www.st-grp.co.jp/>

## 取締役および監査役

代表取締役会長 藤木 正 和  
 代表取締役社長 山下 清 胤  
 取締役副社長 蒲原 彰 三  
 常務取締役 岡本 誠  
 常務取締役 庄司 美 次  
 常務取締役 山田 浩 司  
 取締役 中野 敬 司  
 取締役 三村 伸 昭  
 常勤監査役 大原 達 夫  
 常勤監査役 牧 文 夫  
 常勤監査役 市山 久 一  
 監査役 角木 完太郎  
 監査役 荒木 二 郎

## グループ図



## 株式の状況

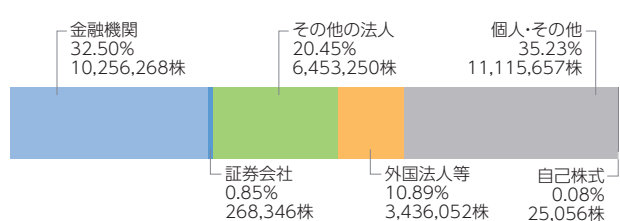
発行可能株式総数…………… 150,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 31,554,629株  
 株主数…………… 23,595名

## 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 千株	出資比率 %
住友化学株式会社	2,235	7.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,021	6.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,324	4.20
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,177	3.74
三協立山社員持株会	1,139	3.61
三井住友信託銀行株式会社	971	3.08
三協立山持株会	946	3.00
株式会社北陸銀行	888	2.82
ST持株会	850	2.70
第一生命保険株式会社	445	1.41

(注) 出資比率は自己株式25,056株を除いて算出しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日  
定時株主総会 8月  
基準日 定時株主総会 5月31日  
期末配当 5月31日  
中間配当 11月30日

上場証券取引所 東京  
公告方法 電子公告 (<http://www.st-grp.co.jp/>)  
※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
<郵便物送付先> 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
<電話照会先> ☎ 0120-782-031  
<インターネットホームページURL> <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

### 単元未満株式の買取請求および買増請求の取扱い

単元(100株)未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

## ホームページのご案内



詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.st-grp.co.jp/>

三協立山

検索

## 今後のIRスケジュール

2014年  
4月上旬

平成26年5月期  
第3四半期決算発表

2014年  
7月中旬

平成26年5月期  
決算発表

2014年  
8月下旬

平成26年5月期  
報告書発送

 三協立山株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70番地  
TEL 0766-20-2101

UD  
FONT



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。